

# コロナ禍、市民のいのち・暮らしを守る予算を



全議員による予算決算常任委員会

**3月議会  
予算集中審査**

3月14日～18日

## 《西山実議員の反対討論骨子》

新型コロナウイルスの感染が拡大する中、ワクチンの迅速な接種と同時に検査が必要だが、検査の予算は反映されていない。市として積極的に検査に取り組むべき。

アウトソーシングなど民間委託が拡大している。信楽地域包括支援センターまで民間委託の予算が出された。そもそも市の仕事に対し職員が少ないのではないか。メンタルで休職中の職員も20人と聞く。職員がきちんと市民に向き合う体制が求められる。

デジタルトランスフォーメーション、ICTなど行政のデジタル化を急速に進める予算である。デジタル化が国民生活を豊かにする可能性を否定するものではないが、市民にとって利便性向上につながるのか、セキュリティは確保されるのか、情報弱者への対応など多くの課題がある。

尚、粘り強く求めてきた中学卒業までの医療費完全無料化が実ったこと、地球温暖化・気候変動に対する政策に向け一歩を踏み出したこと、保育園のクラス担任の正規化が実現したこと、住宅リフォーム助成事業で、太陽光パネルなどで2回目の申請ができるようになったことなどは評価するものである。

## 一般会計予算案 西山実議員が反対討論

新年度の予算総額は前年度より16億4千万円増の413億円。予算決算常任委員会では子育てや教育、地域経済、介護などの事業について各部署ごとに審査が行われました。

コロナ対策では、検査は県が対応することとこれまでと同様の答弁でした。日本共産党は、学校や介護施設など感染リスクが高い施設での定期的な頻回検査が必要、

また検査キットを配備すべきと求めました。新規事業のひとつ、放課後児童クラブ学習支援事業も議論になりました。豊かな放課後を子ども保育が取組まれていますが、突然一日2時間、週3日の教員免許者を配置して学習支援をするというのです。現場でも戸惑いがあること、なぜ学童保育で実施するのか、など問題を明らかにして、合意のないまま実施

するのではないよう求めました。ヤングケアラー実態調査についても、その必要性を認めながらも、アンケート調査は小中学校に委ねる格好になっているため、この点でも充分議論したうえで実施するよう求めました。

自治振興会交付金1億6千万円については今後の方向性については問題が多く、さらに議論を深める必要があります。

また検査キットを配備すべきと求めました。新規事業のひとつ、放課後児童クラブ学習支援事業も議論になりました。豊かな放課後を子ども保育が取組まれていますが、突然一日2時間、週3日の教員免許者を配置して学習支援をするというのです。現場でも戸惑いがあること、なぜ学童保育で実施するのか、など問題を明らかにして、合意のないまま実施

3月14日から18日まで5日間にわたり、議長を除く全議員による予算決算常任委員会が開催され、令和4年度一般会計予算案について集中審査が行われました。日本共産党甲賀市議員団は、コロナ禍のもと、市民のいのちと暮らし最優先の予算になっているか、市民の願いが盛り込まれているか、無駄な予算はないかなどの視点から積極的に発言をしました。18日の委員会最終日には、西山実議員が反対討論を行いました。25日の本会議最終日に、新年度予算案をはじめ、各議案に対する採決が行われました。

## ロシアは直ちに侵略をやめよ！



戦争させない甲賀市民の会による抗議行動が19日に行なわれました。ロシアの無法な行為を止めるには、侵略反対の国際世論を高めることが重要です。

## 下水道使用料改定 15%の値上げ

産業建設常任委員会にて、下水道使用料の改定についての考え方が示されました。第1段階（令和4年度）に約7%、第2段階（令和8年度）に約8%で、現行より約15%の上げ幅とするとのこと。コロナ禍、下水道使用料の値上げは、市民生活に大きく影響するものです。

	【現行】	【改定後】	【増額】
第1段階	8,166円	8,624円	458円
第2段階	8,624円	9,240円	616円
(上記は2か月に56㎡使う世帯の場合、1074円の増)			

## 日本共産党

### 甲賀市議員団ニュース

2022年 3月 27日 第396号



山岡 光広  
甲南町森尻 16  
TEL 86-2985  
Fax 86-0415



岡田 重美  
土山町南土山甲 78-15  
TEL 66-0696  
Fax 66-0696



西山 実  
水口町本丸 3-28  
TEL 62-3044  
Fax 62-3044